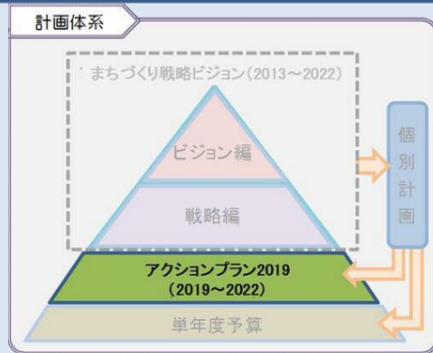


# 「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019」策定方針（骨子）①

## 1 計画の基本フレーム

### 計画策定の趣旨、位置付け（計画体系）

- まちづくり戦略ビジョン（以下「戦略ビジョン」という。）の中期実施計画
- 行財政運営や予算編成の指針



### 計画期間

- 2019～2022年度までの4年間と設定
  - ・アクションプラン2015（以下「AP2015」という。）が2019年度骨格予算までの想定であり、計画事業の約94%が実施・着手済であるため策定を1年前倒しし、終期は戦略ビジョンと同じ2022年度と設定
  - ・行政の継続性を担保するため、2023年度は継続的な実施を要する事業を参考として掲載

### ■AP2015達成状況（見込）

事業費【全697事業・計画事業費13,257億円】	活動指標【全主要事業 378項目】
12,420億円（進捗率93.7%）	316項目（達成率83.6%）

### 計画の特色

- 市長公約の実現に向けた取組の具体化
- 将来にわたって持続可能なまちづくりに向けた、今後4年間の市政運営の視点に立脚
  - ①中長期を展望して札幌の魅力を作り続けるための土台づくり
  - ②「さっぽろ連携中枢都市圏」を踏まえた広域的視野に立ったまちづくり
  - ③企業やNPO等を含めた社会全体のつながりを活かした公共サービスの提供
- SDGs（持続可能な開発目標。2015年9月国連採択）の視点を導入
  - ・重点取組項目や各計画事業をSDGsに関連付け、SDGsを意識して推進
  - ※地方自治体の各種計画策定等にSDGsの最大限の反映を奨励（国「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」）
- まちづくりの取組と行財政運営の取組を一体化
- 戦略ビジョンの創造戦略を基本的な柱に位置付け（3分野・8創造戦略とそれを支える都市空間創造戦略）
- 期間内の全政策経費・建設事業費総量を計画化し、中期財政フレームにより実効性を担保するとともに市債の適切な管理等により、将来世代に過度の負担を残さない財政規律を堅持
- 新規・レベルアップ事業、公約の実現に資する事業などを主な事業として位置付け（AP2015:378事業）

### 計画の推進

- 計画事業には効果に着目した事業目標を設定（可能な限りアウトカム指標や定量的目標を設定）
- 各施策の達成状況は、AP2015を踏襲し、戦略ビジョンの成果指標（AP2015:53項目）により管理
- 成果指標・事業目標による進捗管理を通じて、随時事業を見直し予算に反映

## 2 まちづくり編の主要事項

### 社会経済情勢等の変化を踏まえ、戦略ビジョン達成に向けた施策の推進

- AP2015における成果指標の達成状況を踏まえた事業構築や目標値の再設定を検討

### ■AP2015における成果指標達成状況（見込・再掲項目含む）

政策分野	AP2015目標達成 〔カッコ内はビジョン 目標前倒し達成〕	AP2015目標未達成		主な指標例
		策定時より 改善	策定時より 悪化	
暮らし・コミュニティ (19項目)	4(3)	5	10	【前倒し達成】待機児童数、公共交通利用者数 【悪化】ウィンタースポーツをする市民の割合
産業・活力 (21項目)	6(4)	7	7	【前倒し達成】市内総観光消費額 【悪化】新製品・新技術開発等に取り組む企業の割合
低炭素・エネルギー (13項目)	1(1)	7	5	【前倒し達成】公共交通利用者数（再掲） 【悪化】公共交通満足度
合計(53項目)	11(8)	19	22	※「産業・活力」分野より、調査中止のため算出不能となった指標1項目を除外しているため、数値の合計と項目数とは一致しない。

### ○市長公約の実現

- ・未来の札幌の姿
  - 人々の暮らしの充実に向け、相互に関係し合い、高め合う、2つの未来の札幌の姿の実現を推進

誰もが安心して暮らし生涯現役として輝き続ける街

世界都市としての魅力と活力を創造し続ける街

### ・プロジェクト

市長公約を踏まえて、今後重点的に取り組む項目をプロジェクトとして位置付け

【プロジェクト例】	<b>1 安心して暮らせる 強く優しい街</b> 例 市民の健康を延ばし、元気な高齢者の社会参加を支えます 【取組】地域包括ケア、健康寿命延伸	<b>2 人材を育み成長を 続ける躍動の街</b> 例 産業分野の人材確保・人材育成に取り組めます 【取組】建設、福祉・医療・介護分野の人材確保	<b>3 女性がさらに輝き 活躍する街</b> 例 女性が力を発揮できる環境づくりを促進します 【取組】保育人材確保、子育て世帯の負担軽減
	<b>4 すべての子どもたちが 健やかに育つ街</b> 例 子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます 【取組】医療的ケア児支援	<b>5 魅力と活力にあふれる 成熟した街</b> 例 誰もが「歩いて暮らせる」まちづくりに取り組めます 【取組】駅前周辺拠点整備、公共交通利便性向上	<b>6 行政サービスを高度化し 不断の改革に挑戦する街</b> 例 市民サービスの質の向上に取り組めます 【取組】窓口の利便性向上、AIを活用した市民への情報提供

### ○現下の諸課題への対応

- ・地方創生（人口減少対策等）、広域連携、国土強靱化のさらなる推進等

### 事業構築の視点

- 市民意識調査結果等を踏まえた市民ニーズの把握
  - ⇒安全・安心（複数回答44.9%）、経済・雇用（複数回答43.4%）
- 効果に着目したスクラップアンドビルド
  - ・新規・レベルアップ事業は、事業目標により効果が見込まれるものに厳選
  - ・継続事業は、市民ニーズや実施効果などの観点から見直しを実施
- 民間の資金やノウハウの活用（PPP/PFIの導入など）を積極的に検討
- 区事業の枠組みの再編
  - 健康寿命延伸の取組など全市で実施すべき区の事業群や、区の特徴を活かした、先進的・意欲的な区事業等について、既存の「未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業」とは別に計画化を検討

# 「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019」策定方針（骨子）②

## 3 行財政運営編の主要事項

### アクションプラン2015の取組・評価

- 行政運営の取組については、プラン掲載の個別取組(全56項目)は全て着手済。内部システムの再構築やフィールドイノベーションによる窓口業務の改善など、新規の取組も実施中
- 財政運営の取組については、
  - ・中期財政フレームによる財源的裏付に基づいた各計画事業の着実な実施
  - ・産業振興や再開発への支援等の取組を推進したことによる雇用者数増及び税収増
  - ・事業の効率化や事務事業の見直し等により基金の取り崩し額や市債残高は計画時の見込よりも抑制等、現取組については一定の有効性が認められる
 ⇒アクションプラン2015の取組について継続的な実施が必要

### 現状

- 本市の財政基盤はぜい弱で地方交付税への依存度が高い(国の動向に左右されやすい)
- さらに今後人口減少による税収減も懸念されるなど楽観視はできない状況
- 社会福祉費等の固定費や、老朽化した公共施設等の更新、防災対策等の行政需要は今後も増加の見込

### 課題とその解決の方向性

- 安心・安全な暮らしを支える取組、将来の札幌の魅力や活力を生み出す取組等の重点施策に対する積極的な投資が必要
- 限られた経営資源で高度な行政サービスの持続が求められる
  - ⇒効率的な行政運営や、事務事業の不断の見直しによる資源の再配分が必須
  - ⇒将来世代に過度な負担を残さないため、長期的な視点に立った財政運営の取組が必要

## 3-① 行政運営の方針

### 行政運営の基本姿勢

**柔軟かつ高度な行政サービスを提供し、札幌の街の魅力を将来につなぐため、危機感とスピード感を持って不断の市役所改革に取り組む行政運営**

### 行政運営の方針

- 1 市民や企業、他自治体と連携しながら行政サービスの高度化に取り組む行政運営
  - 市民・企業・NPOや他自治体とのつながりを活かしながら、多様な市民ニーズや社会・経済情勢の変化に応じた柔軟かつ高度な行政サービスの提供と、その持続を目指す。
- 2 生産性の向上と、組織力・職員力の向上に取り組む行政運営
  - 業務の見える化やICTの活用により改善の取組を加速・推進することで、業務の効率化と生産性の向上を図る。また、行政活動の原動力である職員の能力を高め、その能力が最大限に発揮される職場環境や制度の整備などの取組を進める。

### 具体的な取組

取組の柱	取組項目例
①市民・企業との協働	市民・企業・NPO等との連携したまちづくりの取組の推進
②行政サービスの高度化	介護や福祉の相談・支援における区役所機能の強化 窓口申請の簡素化、行政手続のオンライン化等による市民負担の軽減
③業務の効率化・生産性の向上	民間企業と連携した業務の「見える化」に基づく改善の推進 ICT(AI, RPA等)を活用した業務の効率化
④組織力・職員力の向上	職員のコミュニケーション能力の更なる向上と、市民との対話の推進 災害時における避難所の迅速な開設と円滑な運営能力の強化
⑤自治体連携	連携中枢都市の取組の推進、他自治体と連携した行革の推進

## 3-② 財政運営の方針

### 財政運営の基本姿勢

**将来を見据えたバランス重視の財政運営**

### 財政運営の方針

- 1 メリハリの効いた財政運営
  - 選択と集中をより一層明確化し、重点施策に対する積極的な資源配分を実施
- 2 不断の見直しによる持続可能な財政運営
  - 持続可能な財政運営を実現するため、時代の流れを見極め、必要性や効果が薄れている事業の検証、社会情勢等の変化に合わせた資源配分や行政が担うべきサービス水準のあり方の検討など、不断の見直しを実施
- 3 将来世代に過度な負担を残さない健全な財政運営
  - 長期的な財政見通しの視点を踏まえつつ、計画事業費と財源を明示した中期財政フレームに基づく予算編成を行うとともに、市債や基金を適切に管理し、将来を見据えた健全な財政運営を実現

### 具体的な取組

取組の柱	取組項目例
①予算編成・執行手法の改善	中期財政フレームの策定、効果指標に基づく事業サイクルの構築
②歳入・歳出の改革	行政サービスの効率化の推進、サービス水準のあり方の検討、 公共施設マネジメントの推進、受益者負担の適正化
③財政基盤の強化	税源涵養の取組、債権管理の適正化、収納率向上
④財政規律の堅持	財政情報の公開、市債・基金の管理

## 4 市民意見募集

施策について理解を深めた上で市民意向を的確に把握するため、多様な手段により市民意見を募集

(1) アンケートによる市民意見の定量的把握【継続、2018年度実施済】

分野ごとに市民の関心が高い取組を定量的に把握

(2) 持続可能なまちづくりを考えるシンポジウム【新規】

- ・市長と有識者等によるまちづくりに関する意見交換
- ・複数テーマでワークショップ 約100名参加

(3) 高校生、大学生、若手社会人を対象としたワークショップ【強化】

- ・職員等によるまちの課題等についての説明
- ・複数テーマでワークショップ 各属性20名参加

(4) パブリックコメントの実施【継続】

(2) (3) の取組と並行して実施し、意見提出を活性化

重点項目設定等の計画への反映

## 5 策定スケジュール

